



〔発行所〕 一般社団法人応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5 麹町ロイヤルビル405号室  
TEL: 03-5216-8401 FAX: 03-5216-8520 E-mail: [eces-manager@ecesj.com](mailto:eces-manager@ecesj.com) HP: <https://www.ecesj.com/>

〔発行者〕 一般社団法人応用生態工学会 (編集責任者: 専務理事 天野邦彦 事務局長 齊藤泉)

|   |                                |    |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | はじめに .....                     | 1  |
| 2 | 第2期役員候補募集 .....                | 1  |
| 3 | 理事会報告 .....                    | 2  |
| 4 | 第28回新潟大会2025開催案内 .....         | 3  |
| 5 | 2025年度海外学会等への派遣員の審査結果の報告 ..... | 6  |
| 6 | 2024年度派遣報告 .....               | 7  |
| 7 | 2024年度行事経過と今後の予定 .....         | 9  |
| 8 | 事務局より .....                    | 10 |

## 1 はじめに

今号では、第2期役員候補募集、理事会報告、第28回全国大会(新潟大会)開催案内、2025年度海外学会派遣員の審査結果報告、2024年度派遣報告などをお伝えします。

なお、第28回全国大会(新潟大会)については会員への一斉メール・ホームページで既にお知らせし、参加者募集を開始しています。

## 2 第2期役員候補募集(役員候補者選考委員会)

今年度は役員改選年度にあたります。本委員会は、本年4月9日開催の第1期第6回理事会で設置されたことを受け、5月7日に第1回委員会を開催し、以下の要領で次期役員候補の募集を行うことといたしました。

会員の皆様におかれましては、以下の要領に従い、候補者の届出をしていただくようお願いいたします。

なお、本委員会の役員候補者選考委員会規程は、ホームページに掲載しております。

### 【候補者届出を受け付ける役員】

理事(5名以上25名以内)

監事(1名以上2名以内) ※1名は任期中のため。

### 【受付期間】

2025年6月1日から6月30日までの1ヶ月間

### 【届出の様式】

- ・別紙の所定様式を使用してください。
- ・別紙の所定様式は、学会ホームページからWord版、pdf版をダウンロードすることができます。

### 【届出の方法】

- ・自薦・他薦を問いません。

- ・届出は、学会事務局において **郵送のみ** にて受け付けます。
- ・事務局において届出の郵便を受領しましたら、役員候補届出書に記載された届出者の電子メールアドレス宛に受け取り確認のメールを送ります。郵送日から 1 週間以上経っても事務局からの受け取り確認メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。
- ・届出の〆切は、2025 年 6 月 30 日（消印有効）です。

<送付先> 応用生態工学会事務局 事務局長：齊藤 泉宛

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-7-5 麹町ロイヤルビル 405 号室

TEL.03-5216-8401

### 【今後の役員選出の流れ】

#### (1)第2回次期役員候補者選考委員会の開催

- ・候補者募集・受付期間の経過後（本年7月4日）に第2回委員会を開催し、候補者や推薦人名の確認などを行います。
- ・また、本委員会は、役員候補者選考委員会規程第5条の定めるところにより、受け付けた役員候補者を調整して、定款第22条第1項各号に規定する役員の員数の範囲内で、推薦する候補者を選定し、理事会に報告します。

#### (2)候補者の周知

- ・本年8月に、ニュースレター、ホームページ、会員メーリングリストにより第2期第1回総会の開催案内とともに、理事会が決定した次期役員の候補者を周知します。

#### (3)総会での役員選任

- ・役員は、本年9月13日に開催予定の第2期第1回総会の決議により選任されます。
- ・なお、やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された次期役員候補者について投票し、または他の正会員を代理人として表決を委任することができます。

#### (4)会長、副会長及び専務理事の選定

- ・会長、副会長及び専務理事は、総会後に開催される理事会の決議によって理事の中から選定されます。

## 3 理事会報告

第1期第5回書面理事会及び第1期第6回理事会における決議事項、報告事項等について、下記の通り報告します。

#### ・第1期第5回書面理事会

決議事項：事務局長任命の承認の件

令和7年3月6日、会長占部城太郎が理事・監事の全員に対して、理事会決議の目的である事項について、提案書を送付し、当該提案について、令和7年3月20日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、又、監事から異議がない旨の意思表示を得たので、定款第37条に基づき、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

## ・第 1 期第 6 回通常理事会

開催日時：令和 7 年 4 月 9 日（水）午前 10 時～正午

開催場所：河川財団会議室（Web 方式併用）

出席者：理事総数 20 名

出席理事 18 名（定足数 11 名）

会長 占部城太郎

副会長 東信行、清水義彦、藤田光一

専務理事 天野邦彦

理事 赤松良久(WEB 参加)、沖津二郎、小俣篤、北村匡、佐藤高広、島村彰、西廣淳(WEB 参加、10 時 46 分より)、平井秀揮、光成政和、柳川晃(WEB 参加)、吉田丈人、吉村千洋 (WEB 参加) 渡邊康玄

出席監事 1 名

監事 鳥居敏男

その他出席者 事務局長 齊藤泉

決議事項：役員候補者選考委員会選出の件

(東北地区及び九州地区) 地区委員会および内規承認の件

事務局長給与増額の件

要望書・意見書等の作成手続きの件

全国大会企画委員会（仮称）設置の件

新規入会希望者承認の件

報告事項：任意団体からの財産譲渡の経過報告

会誌編集委員会からの報告

普及・連携委員会からの報告

将来構想委員会からの報告

その他事項：2026 年度全国大会について

今後の理事会予定について

2025 年度総会開催予定について

※決議事項の議案については、全て承認可決されました。

## 4 第 28 回新潟大会 2025 開催案内

### 【大会概要】

#### 【お願い】

今回の新潟大会では、暑熱への対応及び多様な年代の参加者間の交流促進のため、できる限り軽装（ノーネクタイ、カジュアルなシャツの着用等）でのご参加をお願いします。

2025 年（令和 7 年）9 月 11 日（木）～9 月 14 日（日）に第 28 回大会（2025 新潟大会）を開催します。

本大会実施に向け、研究発表の受付を 5 月 19 日（月）より開始します。6 月 23 日（月）が研究発表申込と研究発表要旨原稿提出の期限です。どうか奮ってお申込みください。

研究発表の受付は「新潟大会 Web サイト」(<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/eces2025>) で実施します。研究発表要旨原稿は研究発表申込と同時に提出していただきますのでご注意ください。大会参加の受付については、新潟大会 Web サイトにて 8 月 1 日より開始予定です。

研究発表では、従来どおり研究成果の報告だけでなく、現場で抱えている課題や問題提起、プロジェクト提案等を自由に発表できます。テーマを絞って議論ができるよう、自由集会を準備いたします。議論したいテーマをお持ちの方からのユニークな自由集会の企画・提案をお待ちしております。また、今大会でも、関係企業による機材、技術等の展示コーナーを設けます。

9 月 13 日（土）には、公開シンポジウム：「生態系ネットワーク形成を基軸とした地域づくりを目指して」（仮題）を開催します。講演者等については現在調整中です。このシンポジウムは一般にも公開します。多くの市民の方にも参加していただけるよう、会場を「朱鷺メッセ・国際会議室」へ移して実施いたします。公開シンポジウムの参加の受付は、8 月 1 日開始を予定しています。

エクスカーションは 9 月 14 日（日）に予定しています。新潟県内の河川の取り組み、農地の取り組み現場の視察を検討しています。

## 1. 大会概要

### 【日程】

第 1 日目 9 月 11 日（木）：研究発表（ポスター発表）、自由集会

第 2 日目 9 月 12 日（金）：研究発表（口頭発表）、自由集会、懇親会

第 3 日目 9 月 13 日（土）：午前・総会、発表賞表彰、廣瀬賞発表・記念講演会  
午後・公開シンポジウム

第 4 日目 9 月 14 日（日）：エクスカーション

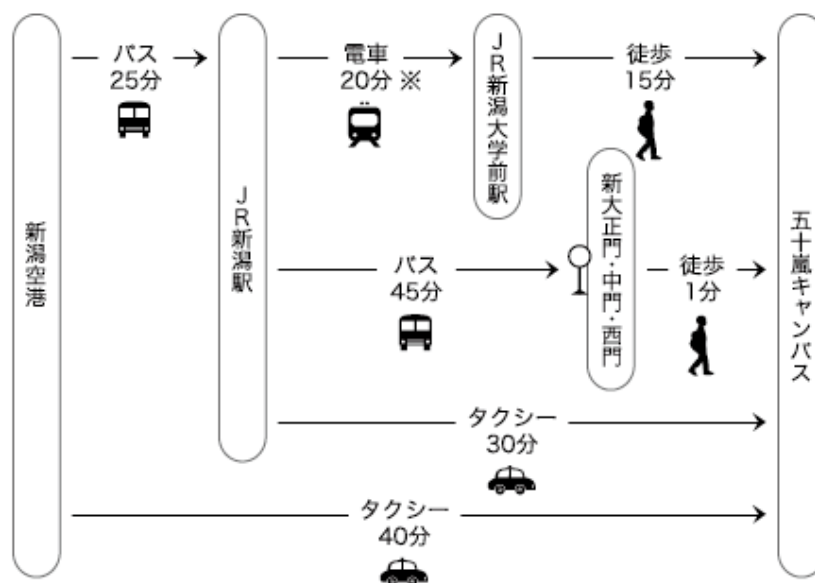
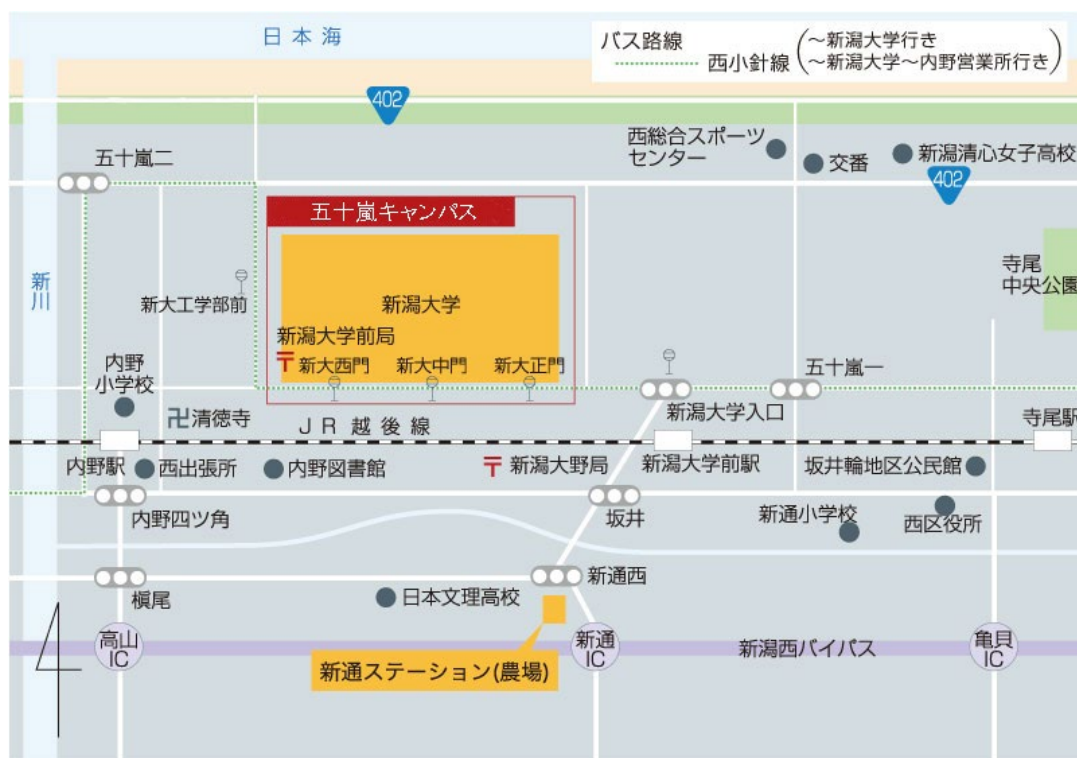
※スケジュールは変更することがあります。詳細なスケジュールは、新潟大会 Web サイト（8 月 1 日）、ニュースレター（8 月上旬発行予定）でご案内します。

### 【会場 9 月 11 日（木）～9 月 12 日（金）】

開催場所：新潟大学 五十嵐キャンパス

（所在地：〒950-2181 新潟県新潟市五十嵐 2 の町 8050 番地）

最寄駅：JR 越後線 新潟大学前駅

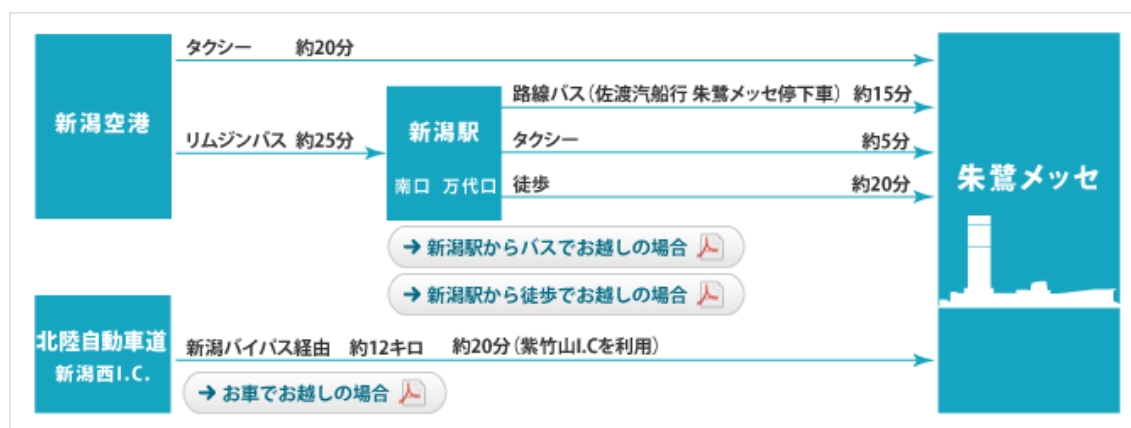
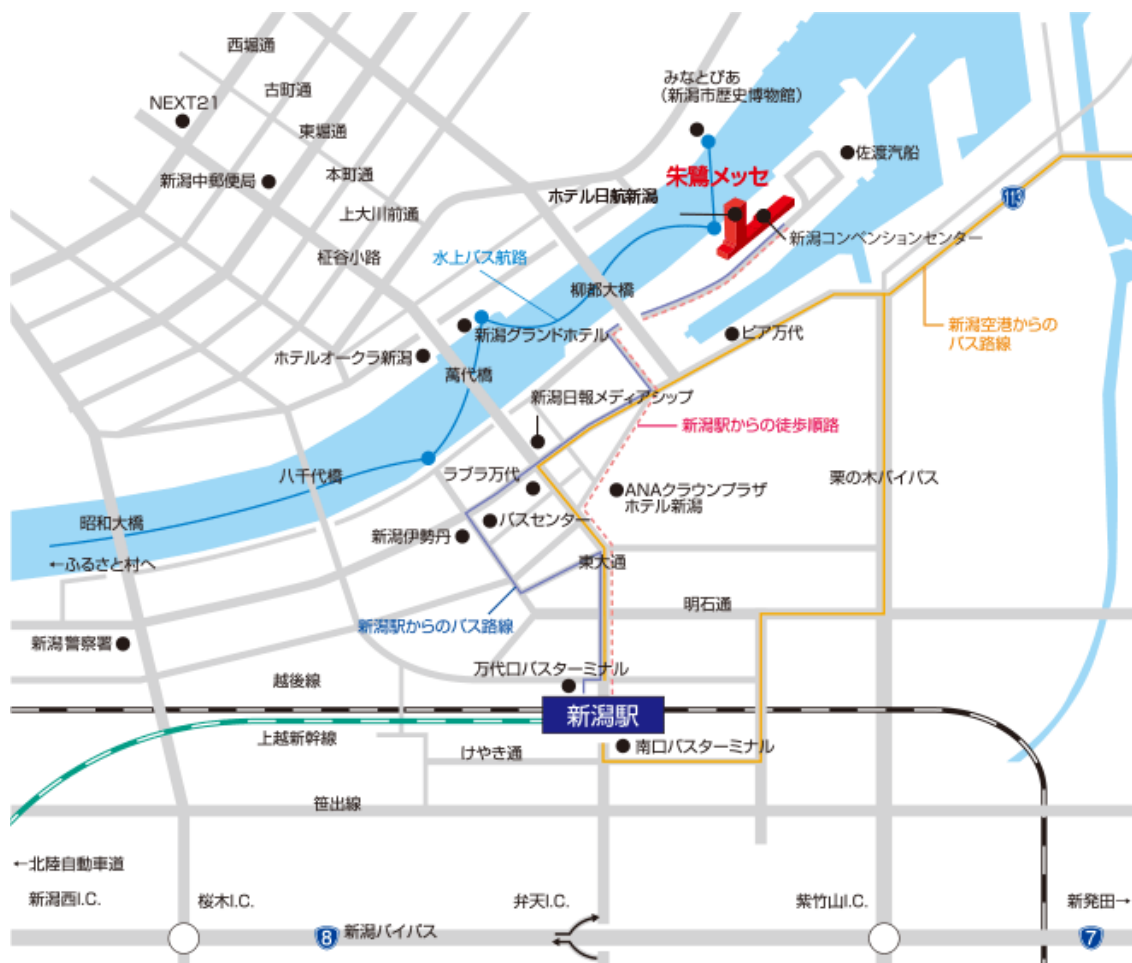


【会場 9 月 13 日 (土)】

開催場所：朱鷺メッセ

(所在地：〒950-0078 新潟市中央区万代島 6 番 1 号)

最寄駅：JR 新潟駅



【主催】 応用生態工学会 第 28 回 新潟大会 実行委員会

【後援】 関係省庁、団体等に申請予定

## 5 2025 年度海外学会等への派遣員の審査結果の報告

国際交流委員会 委員長 小林草平

1. 国際交流委員会では 2025 年度海外学会等への派遣員の募集 (3 月 1 日～31 日) を行った。その結果、6 名からの応募があった。

2. 4 月に開催した国際交流委員会において、応募者 2 名の応募内容を規定の審査基準で審査した。本審査は委員長を除く 6 名の委員により実施され、その結果、下記の 2 名を派遣者として推薦することになった（参考資料：審査内容・結果）。

氏名：中村亮太

所属：京都大学 防災研究所

派遣先：4th International Workshop on Sediment Bypass Tunnels

学会開催日：2025 年 9 月 8 日～10 日

助成額：20 万円

氏名：福丸大智

所属：山口大学大学院創成科学研究科

派遣先：41st International Association for Hydro-Environment Engineering and Research (IAHR) World Congress

学会開催日：2025 年 6 月 22 日～27 日

助成額：20 万円

3. 派遣者が該当学会へ参加した後、所定の報告要旨で報告をしてもらい、その報告内容をニュースレターおよび会誌に掲載する。また、研究者からの決算報告を事務局および国際交流委員会で確認する。

#### 4. 総評

2024 年度から助成額が最大 40 万円になり、1 名または 2 名への助成となった。今年度の応募は 6 名であった。応募者 6 名のいずれも、研究内容と参加予定会議の整合性、申請者の能力および意欲は高かった。

国際交流委員 6 名（委員長を除く）で 7 つの選考基準のもと審査を行い、応用生態工学会での活動実績、発表内容の注目度、確実に情報発信ができる能力などから、今後の応用生態工学分野および本学会への貢献も期待ができる 2 名（中村氏と福丸氏）を、派遣者に選定した。二人の評価点に大きな差がなかったこと、いずれも助成希望額が 20 万円代であったことから 2 名の選定となった。

## 6 2024 年度派遣報告

Society for Freshwater Science Annual meeting 参加報告

東北大学 災害科学国際研究所

内田典子

### (1) はじめに

応用生態工学会の 2024 年度国際交流海外会議へ派遣事業の助成を受け、2024 年 6 月 2 日から 6 日にアメリカ合衆国ペンシルバニア州フィラデルフィアにて開催された Society for Freshwater Science（以下 SFS）annual meeting 2024 に参加させていただきました。本誌面をお借りして、その概要をここにご報告

いたします。

## (2) 大会概要

SFS は、淡水環境に関する生態・保全・物理課程など幅広い分野を対象とした国際的な学術組織です。年次大会は主にアメリカで開催されており（昨年度は初めて北米以外、オーストラリアで開催）、分類学、水質、生態学、工学、また社会貢献に関する研究が幅広く集まります。今大会では、特別セッション 25 項目、通常セッション 29 項目、口頭・ポスター発表総数は学生発表だけでも 649 を数える大規模な大会でした。口頭発表は基本的に 11 の異なるセッションで並行して行われ、聴講者は興味のある発表を追って活発に出入りしていました。ポスターセッションのコアタイムには、発表者も質問者も声を張り上げて話さなければならないほどの盛況ぶりでした。ポスター会場外のロビーには企業や団体のブース、水生昆虫や河川工学に関する古い書籍の記入式オークション、Taxonomy Fair と銘打たれた同定ブースが並び、休憩時間中にも祭りのような賑わいを見せており、私も学会の合間にヒル目を初めて同定するという得難い経験ができました。

## (3) 学会参加・発表内容

私は、大会 5 日目午後のセッション“Challenges and Opportunities in eDNA”において口頭発表を行いました。このセッションは 2 回に分けて実施され、合計 10 件の口頭発表と 2 件のポスター発表がありました。私は本セッションの中で“Monitoring biodiversity and environmental assessment of freshwater macroinvertebrates in anthropogenically polluted rivers using eDNA”というタイトルで、重金属の流入により短距離で群集構造が大きく異なる河川を対象に、水生昆虫環境 DNA を用いた生態影響評価について口頭発表を行いました。他の発表者より流水中の環境 DNA 動態を実験室にて再現する研究があったこと、実河川において魚類と水生昆虫を同時検出し食物網解析に落とし込む試み等が発表されたことを受け、セッション全体で流水中環境 DNA による環境評価の利点・課題点が共有されました。大会中にはもう一つ環境 DNA セッションがあり、上流部にのみ生息する種の環境 DNA を指標として流域の連続性を評価する例等が述べられ、環境 DNA から得られるデータの活用幅の広がりを実感しました。その他、国内ではまだ少ない環境教育・インタープリターに関する発表への関心が高いことも印象的でした。サイエンスコミュニケーションのプログラムの一部については、休憩スペースで体験でき、興味があれば日本でもぜひ広めてほしいとの意欲を伺いました（写真 1）。また、今回の SFS では大会 1 日目に 9 種類の魅力的な現地見学会も企画されていました。私は Great Marsh Institute という都市近郊の広大な私有地（約 283 ha）にある水深の深い湿地帯の訪問に参加しました（写真 2）。当初は土地所有者による管理でしたが、現在は NGO の管理体制のもと、研究機関との連携により研究フィールドとしても提供されています。地元住民主体に限定されない、多様な主体が関与する保全の取り組みに実際に触れる機会となりました。

## (4) おわりに

反省点として、今回は単独での参加だったため、関心のある研究者には事前に連絡を取っておくべきだったと感じています。一方、現地見学会で同席したオハイオ大学准教授やノースカロライナ大学助教のご厚意により、その研究室グループに紹介いただき、会期中には食事や休憩時間を通じて意見交換の機会を得ることができました。次回以降は、こうした偶発的な出会いを大切にしつつ、より計画的に交流の機会を作っていけるよう心がけたい。

また、今回はコロナ禍以降初めて現地（海外）での参加が叶った国際学会となりました。円安や物価高騰の影響により、海外渡航を伴う学会参加は若手にとって困難さを増していると実感しています。しかし、



現地開催ならではの緊張感を持って臨む対面型の国際学会は、オンラインや国内開催学会とは異なる貴重な体験だと改めて実感しました。このような機会を与えてくださった応用生態工学会に厚く御礼申し上げます。



写真 1) 環境教育の簡易体験 (トビケラクラフト, 参加者作).



写真 2) Great Marsh Institute 敷地内の湿地の一部.

## 7 2024 年度行事経過と今後の予定

### 2024 年度(令和 6 年度)行事の予定

|            |                                                                                                                                                                                       |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 6 年 7 月 | 一般社団法人 応用生態工学会 設立 (7 月 1 日)<br>一般社団法人応用生態工学会 2024 年度 (令和 6 年度) 開始<br>設立時総会 (設立時社員のみによる) 7 月 5 日開催<br>会誌「応用生態工学」Vol.27-1 発行<br>第 1 期第 1 回理事会 (7 月 5 日開催)<br>第 1 期第 2 回理事会 (7 月 23 日開催) |
| 8 月        | 第 1 期第 3 回理事会 (8 月 20 日開催)                                                                                                                                                            |

|            |                                                                                                                                                                                  |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9 月        | ニュースレター106 号発行<br>応用生態工学会第 27 回大会（埼玉大会）<br>9 月 18 日(水) 研究発表(ポスター発表) 自由集会<br>9 月 19 日(木) 研究発表(口頭発表) 自由集会 懇親会<br>9 月 20 日(金) 総会 表彰 廣瀬賞発表・記念講演会<br>公開シンポジウム<br>9 月 21 日(土) エクスカーション |
| 令和 7 年 1 月 | 第 1 期第 4 回理事会（1 月 2 7 日開催）                                                                                                                                                       |
| 2 月        | ニュースレター107 号発行                                                                                                                                                                   |
| 3 月        | 2025 年度海外学会等への派遣員の募集<br>廣瀬賞等の募集<br>会誌「応用生態工学」Vol.27-2 発行<br>第 1 期第 5 回理事会（書面開催）                                                                                                  |
| 4 月        | 第 1 期第 6 回理事会（4 月 9 日開催）                                                                                                                                                         |
| 5 月        | 第 1 回役員候補者選考委員会（5 月 7 日開催）<br>ニュースレター108 号発行                                                                                                                                     |
| 6 月        | 総務委員会（6 月 6 日開催予定）<br>第 1 期第 7 回理事会（6 月 12 日開催予定）<br>廣瀬賞選考委員会（6 月 16 日開催予定）<br>2024 年度（令和 6 年度）終了                                                                                |

## 8 事務局より

### 会員管理サービスシステム活用をお願い（会員情報変更、総会資料の受け取り方指定）

1. 会員情報の変更登録は、学会ホームページトップ画面右上の「入退会・登録変更・購読」バナーから入り、「マイページ」にログインし、「マイページ」の下の方にある、「会員情報を変更する」をクリックして、変更登録を行ってください。
2. 会員情報変更のご連絡は、学会事務局 [ecses-manager@ecsesj.com](mailto:ecses-manager@ecsesj.com) にメールをいただくことも可能です。

会誌(希望者のみ)のお届け、ニュースレター、その他の連絡では、かなりの「不達が発生」しています。

連絡先等の変更連絡をよろしくお願いいたします。

3. 「マイページ」にある、「会員情報を変更する」のページの最下段に、「総会招集の通知および総会関係書類の電磁的方法による送付」の選択項目があります。電磁的方法（インターネット）による総会開催通知等の受取りの許諾をお願いします。

（説明）郵送の代わりに電磁的方法（インターネット）により総会開催通知等をお送りするためには、法の定めるところにより、正会員お一人お一人から、個別に承諾を頂く必要があります。

当学会の事務局は 2 名体制で何とか業務を遂行しております。お送りする資料は書面も電子ファイルも同内容です。皆様の 1 分のお手間で、事務局の業務が大きく軽減されます。

もちろん書面の送付が必要という方には、郵送いたしますが、電子ファイルでの受け取りを承諾いただける方におかれましては、許諾いただけますと幸甚です。

皆様のご協力が、事務局業務の大きな助けになります。どうかご協力ください。

### 退会の申し出は「退会フォーム」にてお願いします

退会の申し出については、事務局の見落とし等をさけるため、①「学会ホームページ退会フォーム」または ②「事務局あてに退会の連絡メール」により連絡をお願いいたします。

### 会員数の比較

令和 7 年 5 月 2 0 日現在の会員数と前回報告との比較

|      | R7 年 5 月 20 日 | R7 年 2 月 14 日 | 増減  |
|------|---------------|---------------|-----|
| 正会員  | 824           | 839           | -15 |
| 学生会員 | 128           | 141           | -13 |
| 賛助会員 | 46            | 46            | 0   |